



時代を超えて
私たちに問いかけてくる
白洲次郎の生き方

撮影 濱谷浩/©片野恵介

トークセッションゲスト



まきやま かつらこ
白洲次郎・正子夫妻の長女 牧山 桂子さん
1940（昭和15）年、白洲次郎・正子夫妻の長女として東京に生まれる。
2001年10月、白洲夫妻が暮らした東京都町田市能ヶ谷（のうがや）の自宅を「旧白洲邸 武相荘」として公開。著書に『次郎と正子 娘が語る素顔の白洲家』（新潮社）、『武相荘、おしやれ語り』（小学館）などがある。

まきやま よしお
旧白洲邸「武相荘」館長・陶芸家 牧山 圭男さん
1938年、東京生まれ。
1961年、慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、ヤナセ入社。
1965年、白洲次郎・正子夫妻の長女・桂子と結婚。
1970年、ヤナセから西武百貨店に転職。六本木 WAVE や LOFT の開設に参画。
常務取締役を経て、1997年大沢商会常務取締役に就任。2001年、退任。
以後、旧白洲邸武相荘の運営にかかわる。



きた やすとし
作家 北 康利さん
昭和35年12月24日愛知県名古屋市生まれ、東京大学法学部を卒業。富士銀行入行。資産証券化の専門家として富士証券投資戦略部長、みずほ証券財務開発部長等を歴任。平成20年6月末でみずほ証券退職。本格的に作家活動に入る。100年経営の会顧問、日本将棋連盟アドバイザー、東京と名古屋にて勉強会「一燈照隅の会」主宰。著書に『北摂三田の歴史』（六甲タイムズ社）、『白洲次郎 占領を背負った男』（第14回山本七平賞受賞）、『福沢諭吉 国を支えて国を頼らず』、『吉田茂 ポベリズムに背を向けて』、『陰徳を積む 銀行王・安田善次郎伝』（新潮社）、『松下幸之助 経営の神様とよばれた男』（PHP研究所）、『西郷隆盛 命もいらず、名もいらず』（WAC）、『佐治敬三と開高健 最強のふたり』（講談社）、『胆の人 太田垣士郎 黒四（クロヨン）で龍になった男』（文藝春秋）、『利他の心を永遠に 稲盛和夫伝』（PHP研究所）、『乃公出でずんば 浅沢栄一伝』（KADOKAWA）、『本多静六 若者よ、人生に投資せよ』（実業之日本社）、『ブラジャーで天下をとった男 ワコール創業者塚本幸一』（プレジデント社）、『小澤隆生 起業の地図』（日経BP社）、『二宮尊徳 世界に誇るべき偉人の生涯』（致知出版社）等多数。

同時開催 白洲次郎 企画展 無料

10.27月▶11.3月・祝 場所：郷の音ホールロビーエリア（10/29（水）休館日）
13：00～



白洲次郎の遺品や英国ケンブリッジ大学留学時代の愛車「ベントレー3リッター・スピードモデル」を展示します。

※写真はイメージです

伝えよう ふるさと三田が育んだ偉人
白洲次郎
「信念を貫く生き方」

2025 11.1土
14:00-16:00（13:30 開場）

白洲次郎没後40年特別企画
トークセッション開催

白洲次郎・正子夫妻の長女、牧山桂子さん、
旧白洲邸「武相荘」の館長、牧山圭男さんご夫妻と
「白洲次郎 占領を背負った男」の作者で作家 北康利さん
のトークセッションで、知らされる次郎の生き様から
現代を生きることを学びます。

場所 三田市総合文化センター
郷の音ホール 小ホール
イベント開催中のため駐車場の利用が出来ません。
公共交通機関をご利用ください

参加無料（200名様限定）

参加には申込が必要です。
参加申込：10月10日（金）10:00から
右記2次元コードからWEB申込を開始します。
※満員になり次第申込を締め切ります。



同時開催 白洲次郎セミナー
「白洲次郎と三田について」

日時 10月31日（金）10:30～12:00
場所 郷の音ホール会議室1
定員 40名様 無料
申込 10月14日（火）10時から

三田市観光協会までお電話でお申し込み下さい
TEL 079-561-2241（平日10:00～16:00）

主催：（一社）三田市観光協会



白洲次郎(しらすじろう)は、戦後の激動期に吉田茂首相の側近として活躍した人物。占領下の日本で GHQ に臆せず意見を述べ「NO と言える日本人」として知られています。表には出ずとも日本の再出発を支えた“影の立役者”。その一方で、ライフスタイルやファッションにも強いこだわりを持ち、妻・正子と共に古い農家を手に入れ、自然と美に囲まれた丁寧な暮らしを実践。スーツもジーンズも上品ながら肩肘張らず、必要以上に飾らない“粋”に着こなす姿は時代を超えて今も憧れの的です。流されず、媚びず、無駄を嫌い、自分の信じた道をまっすぐに強く生きたその姿勢は今も多くの人々の心を打ちます。

略 歴

1902 年(明治 35 年)

2 月 17 日、貿易商 白洲文平・芳子夫妻の二男として兵庫県芦屋市に生まれる。

1910 年代後半

白洲家は三田藩に代々仕えてきた儒学者の家系。

神戸一中に進学。のちに

ケンブリッジ大学へ留学し、英語・西洋文化を学び、イギリス紳士の教養やマナーを身につける。

1928 年(昭和 3 年頃)

帰国後、実業界に入り、水産会社などの経営に携わる。

1929 年(昭和 4 年)

白洲正子(旧名：樺山正子)と結婚。正子はのちに

随筆家・古美術研究家として知られる。

1945 年(昭和 20 年)

太平洋戦争終戦。吉田茂の要請で政界に関わり始める。

1946 年(昭和 21 年)

連合国最高司令官総司令部(GHQ)との交渉などに関わり、吉田茂の側近として日本の戦後処理・外交に尽力。とくに日本国憲法の草案作成時や講和条約交渉の現場で重要な役割を果たす。

1951 年以降

政界から距離を置く。軽井沢ゴルフ倶楽部の運営に携わる。

武相荘に住まい、何社かの知人の運営する会社の顧問を務めた。

1985 年(昭和 60 年)

11 月 28 日、83 歳で逝去。

Play
fast
J. Shirasu



旧白洲邸武相荘

白洲次郎・正子夫妻が移り住み、生涯愛した『武相荘』。(東京都町田市)



お問い合わせ

主催/(一社)三田市観光協会
TEL079-561-2241(平日9:00~17:00) FAX 079-550-9011
<https://sanda-kankou.jp/>
後援/三田市・三田市教育委員会
※イベントは天候その他諸事情により中止・変更となる場合があります。

三田市
観光協会HP→

